

事務事業名	図書館運営事業	事業期間	1984 ~	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	図書館係（図書館）	連絡先	72-9085	

政策番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0107	育ちと学びをつなげる	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中						
		基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える								
		実行計画	01	社会教育推進計画	0201	図書館機能の充実								
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称								
予 算 事 業 名	図書館運営費				会計コード	01	款	10	項	05	目	06	事業	02
事務事業の概要	図書館の最も基本的な業務は本・雑誌・紙芝居などの活字資料やCD・DVDなどの音や映像資料、そして電子的な資料などの収集・提供・保存です。これらのサービスと大きく関連する業務にリクエストサービス・相互貸借サービス・利用者の質問や相談に答えるレファレンスサービス等があります。 図書館庶務や図書館運営の基本となる事務を行う事業です。													
現状と背景	図書館は地域の情報の拠点として、本・雑誌・新聞・リーフレット等の活字資料や、CDやDVDなどの視聴覚資料、またインターネットやデータベース等の情報を収集保存し、市民に提供しています。													
目的	受益者	全市民、市内通勤者、通学者、別荘所有者。												
	対象	同上												
	意図	図書館は、本・雑誌などの資料を収集・提供・保存する場所という外に、仕事や生活の役に立つ多くの情報を手に入れられる場所、市民の書齋であるということを知ってもらい、そして、地域のシンボル・市民の心のよりどころとなることを目指します。												
手段・方法	平成30年4月から開館時間が延長になったことを、館内掲示や広報などでPRし使いやすくなったことを市民へ周知させる。 一人でも多くの市民が図書館に対して満足してもらえるよう、求めている資料や情報等を収集し、提供できるようにする。また、市民が図書館に対して何を求めているか、満足度調査アンケートをとる。													
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
	1	開館時間延長になったことのPR	PR回数	回	館内掲示、広報、HP掲載	6								
2	開館時間延長による利用者の満足度調査の実施	アンケート回収率	アンケート回収率	%	アンケート回収率÷アンケート配布数	70								
3														
変更履歴	(指標)29年度 システム更新になったことのPR⇒30年度 開館時間延長になったことのPR													
成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
1	開館時間延長について満足度の向上	満足度の向上	%	開館時間延長について満足度の向上	70									
2														
変更履歴														

実 施 状 況	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	事業費等(a)	円	16,082,127	14,956,092	15,889,000		
	財源内訳	円					
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
地方債	円						
その他特定財源	円	80,400	114,880	80,000			
一般財源	円	16,001,727	14,841,212	15,809,000			
活動指標	PR回数	目標	6	7	7		
		実績	7	7			
	達成率	%	116.67	100.00	-	-	-
	アンケート回収率	目標	%	70	70	70	
実績		%	0	-			
達成率	%	0.00	#VALUE!	-	-	-	
成果指標	満足度の向上	目標	%	70	70	70	
		実績	%	0	-		
	達成率	%	0.00	#VALUE!	-	-	-
	-	目標	%	-	-	-	-
実績	%	-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考	広く市民の意見を聞くため、2019年度の状況を把握するための利用者アンケートは実施せず、2020年度に市民アンケートを実施することとした。						

事務事業名	図書館運営事業		事業期間	1984 ~	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	図書館係 (図書館)		連絡先	72-9085	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分	開館時間延長のPRについてはホームページやビーナチャンネルなど市役所関係の広報を活用したことにより目標値を上回ったが、アンケート調査の内容を利用頻度などの利用状況としたため、今年度は満足度についての調査をすることができなかった。	広く市民の意見を聞くため、2020年度に市民アンケートを実施することとし、利用者アンケートを実施しなかった。			
価値	成果	今年度よりビーナチャンネルに図書館のお知らせコーナー枠を作ったことにより、PRについては目標値を上回り、情報発信の場を増やすことができた。	広報、ホームページをはじめとして、あらゆる方法で、図書館についての情報発信を行い、認知度アップに努めた。			
	課題	開館時間延長開始の初年度ということもあり、アンケート調査内容を満足度よりも利用頻度を優先した。満足度を調査するタイミングをいつにするのか考える必要がある。	今後の図書館のあり方について、どの機能に重点を置いていくのか、施設の位置の問題を含め、今後の管理運営について考えていく必要がある。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	成果	・PR回数を増やしていくためには情報発信の場を職員ひとりひとりが日々の業務の中で意識的に探していく必要があると考える。また市民へ開館時間延長を周知するために今後もホームページへの掲載を継続する。 ・満足度調査アンケートをするタイミングは、開館時間についての問い合わせなどが減り、市民に時間延長が浸透してきた中で実施することが望ましいと考える。また質問事項については利用者の満足度がわかるものであり分析しやすく、利用者が回答しやすいものにする必要があると考える。	・開館時間延長を行ってきたが、午後6時以降の新規入館者が少ないことから、費用対効果を勘案し、2020年度から、午後6時以降の開館時間延長をとりやめることとした。(平日の開館時間の30分短縮) ・市民アンケートによるニーズの把握、協議会での意見聴取等により、今後の図書館運営についての検討をしていく。			
	改善の内容					
作成担当者	濱 純佳	両角香代				
最終評価責任者	藤森 隆	藤森 隆				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				

事務事業名	図書館資料購入事業	事業期間	1989 ~	年度	係内番号	02
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	図書館係（図書館）	連絡先	72-9085	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0204	資料の整備と充実		

予算事業名	図書館資料購入事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	06	事業	04
-------	------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
 ・地域の①情報拠点として②読書施設として③地域資料の保存活用④住民の生涯学習を支援するという役割を果たすため、図書館の基本的業務である活字、映像、録音物、その他必要な資料を収集・購入する事業である。
 ・購入する資料は、利用者からのリクエストを参考に、諏訪地域内及び県内図書館の所蔵を確認しつつ、職員による選書会議で決める。

現状と背景
(どうして)
 開館して33年が経ち、本の汚損・破損も多くなった。内容が古くなったものや読まれなくなった本については定期的に除籍を行っている。新刊は毎年7万冊以上出版されているが、購入できる新刊本は予算増となったものの年間約5,000冊である。

目的
 対象 受益者 (誰のために)
 全市民及び市内通勤、通学者及び別荘所有者。
 対象 (直接働きかける)
 同上

留意点 (どんな状態にしたいか)
 ・限られた予算内でバランスのとれた資料購入を行い、利用者の求める資料を的確に収集し提供する。
 ・選書から発注までの期間をできるかぎり短く抑え、発注図書の100%の購入・納品を目指す。

手段・方法 (どうやって)
 ・職員を選書能力を高め、利用者が何を求めているかをリクエストサービスや書店の公表するベストセラーランキング等で把握する。
 ・自己研鑽(書店等での情報収集、新聞・雑誌等各種資料の書評欄や公共図書館への選書関係書籍などを読む等)の中での的確な選書を行う。
 ・通常業務でのフロアワークや他市町村からの借り入れ資料で本についての知識を高め、他市町村の資料収集傾向を知る。

評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	職員による選書会議の開催	会議開催回数	回	選書会議開催回数
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	選書図書の速やかな発注	選書図書の整備率	%	選書購入冊数÷選書発注冊数×100	100

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	財源内訳	事業費等(a)	円	10,288,836	10,316,623	10,499,000	
国庫支出金		円					
県支出金		円					
地方債		円					
その他特定財源		円					
活動指標	会議開催回数	目標	12	12	12		
		実績	0	0			
		達成率	0.00	0.00	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	成果指標	選書図書の整備率	目標	100	100	100	
実績			99	99			
達成率		%	99.00	99.00	-	-	-
-		目標	-				
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	図書館資料購入事業		事業期間	1989	～	年度	係内番号	02
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	図書館係（図書館）			連絡先	72-9085	

事後評価	項目	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		購入予定だった図書が絶版により購入できないことがあった。子どもによく読まれる児童書は傷むことが多く、破損等により買い替えを行い、資料を提供している。しかしながら、発行から時間が経ち絶版や増刷が未定であるなどの理由で手に入らないものも出てきている。	特に消耗した児童本の買い替え時に購入できない本（絶版・増刷時期未定）があった。出版から年数が経過していると入手が難しい。昨今の社会状況の中で、書店へ卸すのではなくインターネットで出版社等が直接販売する本も出てきており、入手できない本もある。		
価値（総合評価）	成果	選書については担当と話し合い進めているが、閉館時間延長による時差出勤もあり選書会議の時間が取れなかった。但し選書は職員全員で行っており、担当がある分野に関しては担当と話し合いをするなど複数の目で進めている。	複数人で確認し、発注を行っているが、時差出勤もあり、選書会議の時間をとることができなかった。選書担当がそれぞれの職員とコミュニケーションをとり、選書する際の参考としている。			
	課題	利用者から専門書のリクエストがあるが、多くの利用が見込まれない場合は他館からの取り寄せで対応している。出版状況の変化により品切れ・絶版が増えていることから、今後選書図書の整備率は目標を満たせなくなる可能性がある。	本は地元書店購入等で購入しているが、書店へ卸さないインターネット通販の本は買うことができないため、買い替えできない本も実際にあった。どのように対応して、整備率を上げていくか検討が必要。			
改革	翌々年度方向性	成果 現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性（内容）	改善の方向性（内容）	今年度は選書会議が行えなかったため、来年度については目標とする回数を現状と合ったものにし、できる範囲で開催できるようにしたい。また、ネットワークで諏訪地域図書館が繋がっているため、他館の資料購入状況や利用状況を確認し、選書材料の一つとした。児童書の買い替えの他、辞書等のレファレンス資料についても最新のものとしよう所蔵資料の洗い出しをし、入替を進める。今後も迅速で的確な選書により必要な情報を市民に届けられるよう努めたい。	古くなってしまったレファレンス資料の買い替えを行っている。調べ物の核となる部分のため、新しい情報を揃えられるように入れ替えを進めていきたいが、高価な資料のため費用がかかることが問題である。ネットワークでつながっている諏訪地域図書館ともコミュニケーションをとり、参考にできることがあれば選書に取り入れていきたい。選書会議については、会議の内容、やり方、目的を考えたい。今後も新刊図書を中心に市民に求められる本の購入をしていけるように努めたい。			
作成担当者	守矢 美空	守矢 美空				
最終評価責任者	藤森 隆	藤森 隆				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				